



HEIWA PAPER



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 平和紙業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9929 URL https://www.heiwapaper.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清家 義雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括本部副本部長 (氏名) 和田 学 TEL 03-3206-8501
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,787	1.0	51	69.6	84	68.6	36	△95.2
2023年3月期第2四半期	7,707	2.9	30	△31.2	50	45.0	766	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 352百万円 (△59.8%) 2023年3月期第2四半期 876百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	3.90	—
2023年3月期第2四半期	79.44	—

2023年3月期第2四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため「—」と記載しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,908	9,705	54.2
2023年3月期	17,565	9,409	53.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 9,705百万円 2023年3月期 9,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
2024年3月期	—	6.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	5.8	122	△11.8	196	2.0	137	△84.3	14.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	10,116,917株	2023年3月期	10,116,917株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	657,395株	2023年3月期	657,395株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	9,459,522株	2023年3月期2Q	9,642,722株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ、インバウンド需要がコロナ禍以前の水準に近づく等、経済活動の正常化が進んでいることから、景気は緩やかに持ち直しています。しかしながら、長期化するウクライナ情勢や中近東情勢に伴う原燃料価格の高騰、海外経済の下振れや円安に伴う物価上昇で消費マインドが低下するリスクは続いており、景気の先行きは不透明な状況にあります。

紙パルプ業界におきましては、印刷・情報用紙の構造的な需要減少や原燃料高騰に伴う価格改定による需要の冷え込みが続いており、紙・板紙での国内出荷量は、前年同四半期実績を下回りました（「日本製紙連合会」統計資料より）。

このような中で当社グループは、事業の高付加価値化と需要伸長分野への深耕をターゲットとし、主力である高付加価値特殊紙の販売強化、観光、インバウンドやリオープン消費の需要が見込める高級パッケージや各種機能紙分野への注力、新規需要、新規顧客の獲得を推進しました。製紙メーカーの事業再構築に伴う抄造設備の停機等による商品再構築局面での商品の高付加価値化も進行し、顧客満足度向上と収益性の改善を図っています。また、脱炭素、脱プラスチック、SDGs等の社会ニーズに応える商材の開発や提案を進め、展示会、SNS等による継続的な情報発信による新規顧客及び新規需要の獲得を進めています。原燃料の高騰による価格改定に伴う需要減退の影響を受け、販売数量は前年同四半期実績を下回りましたが、販売単価の上昇もあり、売上高は前年同四半期実績を上回りました。

なお、前第2四半期連結累計期間においては、固定資産売却益11億33百万円を計上していますが、当第2四半期連結累計期間は同様の特別利益がありませんので、前年同四半期比で親会社株主に帰属する四半期純利益が大きく減少しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高77億87百万円（前年同四半期比1.0%増）、経常利益84百万円（前年同四半期比68.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は36百万円（前年同四半期比95.2%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去前となっております。

<和洋紙卸売業>

和洋紙卸売業は、構造的な情報伝達媒体のデジタルシフト、価格改定による需要減退の影響が続き、販売数量は減少しました。しかしながら、販売単価の上昇と経済活動の正常化による観光イベント事業等の国内需要の緩やかな回復が続いたことから、ファインボードと高級印刷紙の販売が堅調に推移し、売上高は80億83百万円（前年同四半期比0.9%増）、営業利益は41百万円（前年同四半期比71.1%増）となりました。

<不動産賃貸業>

不動産の売買、賃貸借、管理及び仲介で構成される不動産賃貸業は、概ね前年同四半期と同水準で、売上高は9百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益は7百万円（前年同四半期比1.3%増）となりました。

(参考)

当社単体の和洋紙卸売業の営業成績

品目別	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンシーペーパー	1,639	22.8	1,613	22.2	△1.5
ファインボード	859	12.0	968	13.3	12.7
高級印刷紙	1,642	22.9	1,703	23.4	3.7
ベーシックペーパー	1,981	27.6	1,974	27.1	△0.4
技術紙	943	13.1	928	12.8	△1.6
その他	113	1.6	94	1.2	△16.3
合計	7,179	100.0	7,284	100.0	1.5

[ファンシーペーパー]

多様な色、表面性、風合いを持つ高付加価値特殊紙のファンシーペーパーは、コロナ禍の影響が縮減し、書籍装丁用途や東アジア向けの輸出が堅調に推移しましたが、商業印刷物や紙袋用途が減少し、売上高は16億13百万円、前年同四半期比1.5%の減少となりました。

[ファインボード]

ファンシーペーパーの厚物(板紙)であるファインボードは、各種観光イベント事業の再開に伴い、菓子食品・化粧品等の高級パッケージ向けの販売が回復し、売上高は9億68百万円、前年同四半期比12.7%の増加となりました。

[高級印刷紙]

独自の風合いを持ち、通常の印刷用紙より高価格帯の高級印刷紙は、商業印刷物用途の販売が安定し、出版物や紙製品用途が増加したことで、売上高は17億3百万円、前年同四半期比3.7%の増加となりました。

[ベーシックペーパー]

上質紙、塗工紙、色上質紙等の印刷用紙、包装用紙、各種パッケージ向け板紙等で構成されるベーシックペーパーは、書籍向けや医療品・化粧品パッケージ用途が堅調に推移しましたが、商業印刷物及び紙製品用途、東アジア向け輸出の販売が減少し、売上高は19億74百万円、前年同四半期比0.4%の減少となりました。

[技術紙]

通常の紙にはない特殊機能が付与されている技術紙は、各種工業品製造用工程紙や耐水撥水性機能紙、合成紙の販売が堅調に推移しましたが、偽造防止用途の販売が減少し、売上高は9億28百万円、前年同四半期比1.6%の減少となりました。

[その他]

家庭紙、紙加工品、製紙関連資材等で構成される当区分では、ペーパータオル等家庭紙の販売が堅調に推移しましたが、製紙関連資材、紙加工品の販売が減少し、売上高は94百万円、前年同四半期比16.3%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3億42百万円増加して、179億8百万円となりました。主な要因は、現金及び預金3億39百万円が減少したものの、電子記録債権3億3百万円、投資有価証券3億56百万円が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて47百万円増加して、82億3百万円となりました。主な要因は、未払法人税等1億11百万円が減少したものの、支払手形及び買掛金1億53百万円が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2億95百万円増加して、97億5百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金2億49百万円が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月10日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2024年3月期の連結業績につきましては、以下のとおり見込んでおります。

売上高	17,000百万円	(前期比	5.8%増収)
営業利益	122百万円	(同	11.8%減益)
経常利益	196百万円	(同	2.0%増益)
親会社株主に帰属する当期純利益	137百万円	(同	84.3%減益)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,072,938	2,733,513
受取手形及び売掛金	3,831,468	3,883,936
電子記録債権	1,491,553	1,795,213
商品	3,962,048	3,999,955
貯蔵品	49,557	54,105
その他	88,562	98,886
貸倒引当金	△18,351	△20,356
流動資産合計	12,477,775	12,545,254
固定資産		
有形固定資産	1,953,389	1,926,529
無形固定資産	40,044	44,406
投資その他の資産		
投資有価証券	2,438,886	2,795,278
長期預金	300,000	300,000
その他	357,056	298,654
貸倒引当金	△1,959	△1,959
投資その他の資産合計	3,093,983	3,391,972
固定資産合計	5,087,417	5,362,908
資産合計	17,565,193	17,908,163

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,623,140	4,776,807
短期借入金	2,371,471	2,316,756
未払法人税等	134,453	22,642
賞与引当金	136,100	91,674
その他	277,427	243,915
流動負債合計	7,542,594	7,451,795
固定負債		
退職給付に係る負債	255,220	258,728
資産除去債務	70,451	71,054
繰延税金負債	234,169	370,982
その他	53,029	50,457
固定負債合計	612,870	751,223
負債合計	8,155,465	8,203,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,107,843	2,107,843
資本剰余金	2,331,387	2,331,387
利益剰余金	4,605,132	4,585,320
自己株式	△293,972	△293,972
株主資本合計	8,750,391	8,730,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	555,612	805,393
為替換算調整勘定	103,723	169,170
その他の包括利益累計額合計	659,336	974,563
純資産合計	9,409,728	9,705,143
負債純資産合計	17,565,193	17,908,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,707,563	7,787,290
売上原価	6,187,245	6,182,267
売上総利益	1,520,317	1,605,023
販売費及び一般管理費	1,490,133	1,553,842
営業利益	30,184	51,181
営業外収益		
受取利息	2,051	2,717
受取配当金	41,742	37,378
為替差益	—	27
助成金収入	16,198	—
その他	2,604	8,680
営業外収益合計	62,596	48,803
営業外費用		
支払利息	4,896	11,460
為替差損	3,389	—
売上割引	1,735	1,777
休業手当	32,055	—
その他	478	2,071
営業外費用合計	42,555	15,309
経常利益	50,226	84,675
特別利益		
固定資産売却益	1,133,083	—
特別利益合計	1,133,083	—
特別損失		
固定資産除売却損	1,687	164
投資有価証券評価損	43,211	—
特別損失合計	44,899	164
税金等調整前四半期純利益	1,138,410	84,510
法人税、住民税及び事業税	88,929	7,340
法人税等調整額	283,453	40,225
法人税等合計	372,382	47,565
四半期純利益	766,027	36,945
親会社株主に帰属する四半期純利益	766,027	36,945

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	766,027	36,945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,703	249,780
為替換算調整勘定	93,998	65,447
その他の包括利益合計	110,702	315,227
四半期包括利益	876,729	352,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	876,729	352,172

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	和洋紙卸売業	不動産賃貸業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	7,702,351	—	7,702,351	—	7,702,351
その他の収益	—	5,212	5,212	—	5,212
外部顧客への売上高	7,702,351	5,212	7,707,563	—	7,707,563
セグメント間の内部売上高又は振替高	312,611	4,271	316,883	△316,883	—
計	8,014,963	9,483	8,024,447	△316,883	7,707,563
セグメント利益	24,445	7,597	32,043	△1,858	30,184

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,858千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	和洋紙卸売業	不動産賃貸業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	7,782,016	—	7,782,016	—	7,782,016
その他の収益	—	5,274	5,274	—	5,274
外部顧客への売上高	7,782,016	5,274	7,787,290	—	7,787,290
セグメント間の内部売上高又は振替高	301,433	4,271	305,705	△305,705	—
計	8,083,450	9,545	8,092,996	△305,705	7,787,290
セグメント利益	41,820	7,699	49,519	1,661	51,181

(注) 1. セグメント利益の調整額1,661千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。